

## 第10回吹田貨物ターミナル駅調整会議 議事要旨

1. 日 時：平成30年6月16日（土） 10：00～10：30
2. 場 所：JR貨物 吹田貨物ターミナル駅 3階大会議室
3. 出席者：別紙出席者名簿参照
4. 議事内容

(1) 吹田貨物ターミナル駅および大阪圏4駅の平成29年度貨物取扱量および中継コンテナ取扱量について、JR貨物が資料に基づき説明しました。

- ・吹田貨物ターミナル駅の取扱量は、協定の遵守事項として年間100万トン以内となるよう管理しています。駅の開業当時は年間57万トンでしたが、平成29年度は年間70万トンで微増となっています。
- ・また、平成29年度の中継取扱量は37万トンであり、協定の遵守事項である年間45万トン以内となっています。

(2) 吹田貨物ターミナル駅専用道路の通行台数について、JR貨物が資料に基づき説明しました。

- ・1日の最大通行台数について、平成29年4月に800台を超え、平成30年3月は900台を超えましたが、協定の遵守事項である1日1,000台以内となっています。
- ・毎年3月末から4月にかけての1週間は、引越などのため特異的に台数が増加します。
- ・毎日、13時から翌日13時までで一日分としており、1,000台を超えないよう、管理しています。

### <質疑応答>

Q：来年以降も遵守するようお願いします。最近では貨物関連自動車の通行経路に関する違反の苦情も聞いていません。その他を含めて大きな課題はないと認識しています。

Q：十三・高槻線の交通量が増えています。貨物専用道路の出入口は十三・高槻線のちょうど真ん中あたりに位置しており、事故が心配です。貨物専用道路から右折して出て行くときに信号が2つありますがトラックが滞留しないように信号が調整できないのでしょうか。

A：開業当初から、十三・高槻線の開通により交通量が増加することは認識しています。事故等については同じ地域の一員として留意したいと思います。

Q：おおさか東線の新駅開業に伴い、道路（南吹田駅前線）が開通して交通量が増えると思われます。信号については2つあることで逆にスピードが出ないと思います。

Q：連合自治会長長の交代により初めて参加しましたが、次回からは貨物専用道路に近い個別の自治会に出席してもらおうかと思っています。おおさか東線の新駅開業に伴い、吹田市水道部の方まで道路が開通して交通量が心配です。また、平成30年3月に、

964台の日がありますが、1,000台を突破する恐れはないのでしょうか。

A：900台を超えたのは数日だけです。駅において常に注意を払っており、1,000台を超えないよう管理しています。

Q：鉄道貨物輸送は増加しているのではないのでしょうか。

A：微増しています。協定の範囲内で営業努力を行います。約束事は守ります。

Q：特定の運送会社のトラックを多く見かけます。

A：その運送会社の専用列車を走らせています。

Q：貨物専用道路から右折して出て行くときの2つ目の信号が赤だった場合、トラックが対向車線にはみ出すことはないのでしょうか。

A：開業当初から、2つ目の信号の滞留長には留意し、余裕をもって右折するように指導を徹底しています。

(3) (その他) JR貨物より、アサヒビール工場の出入口について説明しました。

- ・12月に開催された第9回会議にて、アサヒビール工場からの新出入口について説明しました。その際、供用開始は6月末と伝えましたが、7月下旬に変更となります。
- ・7月上旬から試験走行を開始します。
- ・従来の出入口とアサヒビールの出入口と合わせて1日1,000台とします。

Q：新出入口の台数は表示されるのですか。

A：従来の出入口の表示場所に一段増やす形で表示されます。上段が新出入口、下段が当出入口という形にします。

以上